

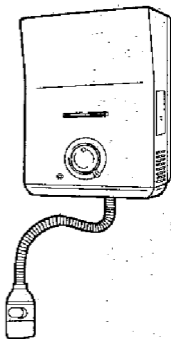
ガス小型湯沸器

元止式

33-055型・33-056型・33-057型

型式名 YR526

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

大阪ガス

特長・機能のご紹介

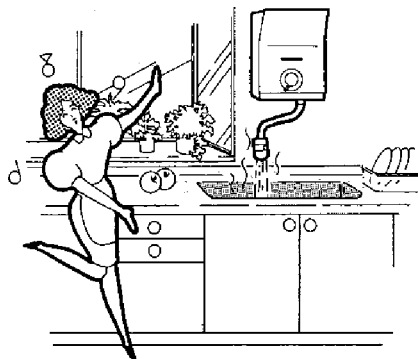
ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのご紹介で、
大阪ガスのお湯・熱湯・水の出しかた、
まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保管してください。

もくじ

●特長・機能のご紹介	1
●必ずお守りください	2-3
●各部のなまえと扱い	4
●使いかた	
●操作前の準備と確認	5
●お湯の出しかた・止めかた	6
●熱湯の出しかた・止めかた	7
●水の出しかた・止めかた	8
●凍結予防のしかた	9
●点検・お手入れ	10-11
●故障かな?と思ったら	12-13
●寸法図	14
●仕様	15
●保管とアフターサービス	16
●設置・工事	17-18-19-20-21



これはもう
キッチンのインテリア!!
シンプルさがたまりません!!

操作はカンタン/
指先で轻轻一く
ワンタッチ!!

うすーく、うすーく
なって、目の前
スッキリ!!

●お湯が飛び散りません

食器の油污れも、おっくうな冬場の洗い
ものも、暖かいお湯でイッキョに解決/
キッチンシャワーでお湯が飛び散りませ
ん。



●熱湯がそのまま使えます

突然の来客や、お急ぎのとき、お茶・コー
ヒーさらにカップメンなどに素早く熱湯
がご利用いただけるうれしい便利さです。
気分はもうポット感覚!!



●水道栓として使えます。

お湯・熱湯・水がすべてワンタッチでOK/
水量調節もできます。



必ずお守りください

●使いかた ●お湯 ●熱湯 ●水の出しかた ●止めかた
●故障かな?と思ったら ●お知らせ ●メンテナンスについて

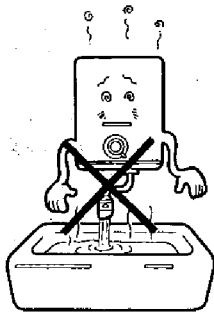
【設置・工事】販売店・工事店用

必ずお守りください

ガス漏れ・やけど・火災
故障などを防ぐために

●本器の用途について

- この器具は手もとで少量のお湯を小まめにお使いになる場合に適しています。お風呂のお湯はり等の長時間出湯には適していません。(長時間出湯は絶対にしてはいけません。)



●補助用具について

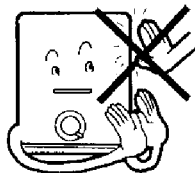
- この器具の付属品・補助用具以外は使用しないでください。不完全燃焼などの原因になります。

●長期間使用しない場合

- ①ガス元栓を閉じ、水抜きを行なってください。(9ページ参照)
- ②乾電池を電池ケースより抜いてください。(乾電池の液もれにより、器具をいためることがあります)
- ③器具を長期間使用しなかったときには、すぐに飲料用や調理用にお使いにならないで、少し(カップ2~3杯分)流してからお使いください。

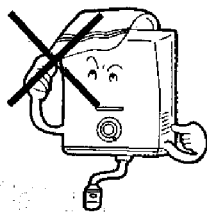
●やけどの注意

- ①使用中、または使用後しばらくは器具が熱くなっていますので、ブッシュボタン・湯温調節ハンドルおよびキッチンシャワー以外には触れないでください。
- ②出湯した直後には少し熱いお湯が出る場合がありますので、出はじめのお湯には手を触れないでください。



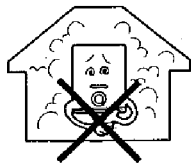
●火災予防について

- ①器具の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
- ②タオルやふきんなどを器具の排気口の上にかぶせたり、給気口をふさいだりしないようにご注意ください。
- ③器具の上に棚があり、物を置く場合は、落下しないように、十分ご注意ください。



●換気について

- ①湯沸器を使うときは、換気扇を回すなど必ず換気してください。
- ★自動的に換気扇を回すことのできる「換気扇運動スイッチ」(別売)のご利用をおすすめします。
- ②閉めきった部屋で長時間使用すると、不完全燃焼防止装置が作動して消火することがあります。



●窓をあけてお使いになるとき

- 風通しのよい部屋で器具が使われるときは、器具に強い風があたると、不完全燃焼をおこし安全装置が作動することがあります。特に、窓ぎわに設置されている場合、器具に直接風をあてないよう、窓のあけ方に注意してください。

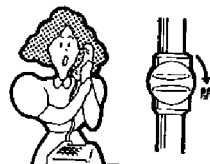


●日常の点検・お手入れ

- 日常の点検・お手入れは、必ず行なってください。
- ★詳しくは10・11ページをお読みください。

●ガス事故防止

- ①お出かけやおやすみになるときは、ガス元栓を必ず閉じてください。
- ②ひび割れしたり、差し込み部がゆるんだゴム管は必ず取り替えてください。(古くなったゴム管は取り替えてください。ゴム管の寿命はおおよそ3年がめやすです。)



- ③ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉め、お買い求めの販売店、またはもり野の大阪ガス支社にご連絡ください。
- ④万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけない、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電池プラグの抜き差しなど)しないでください。火や火花で引火し、爆発事故等をおこすことがあります。

●凍結予防について

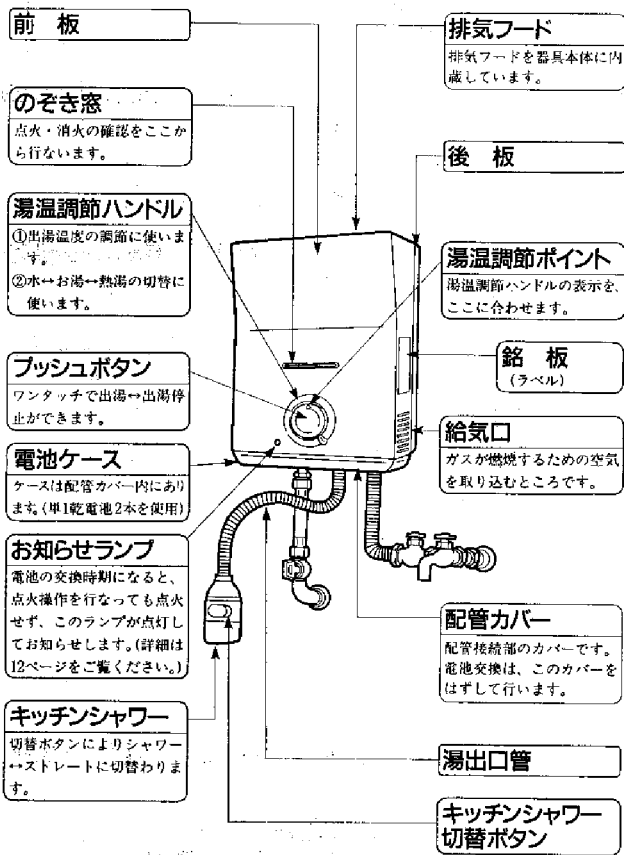
- 冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具および配管内の水が凍って、器具や配管を破損することがあります。
- ★詳しくは9ページをお読みください。

●必ず守ってください

●使いかた ●お湯●熱湯●水の出しかた 止めかた

●設置・工事(販売店・工事店用)

各部のなまえと扱いかた

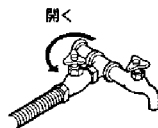


扱いかた

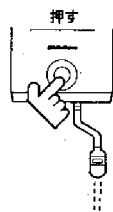
操作前の準備と確認

●操作前の準備と確認

1 給水栓を開く



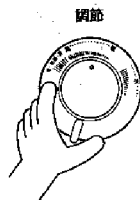
2 プッシュボタンを押し水の出ることを確認する



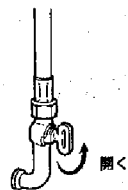
確認したら、もう一度プッシュボタンを押して水を止める。

3 「低」～「高」の間にセットする

●温度調節ダイヤルを回してセットします。



4 ガス元栓を開く



■扱いかた ●お湯●熱湯●水の出しかた・止めかた

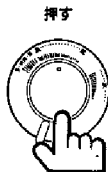
■故障がなつと思つたら「お知らせランプ」について

■設置工事(販売店・工事店用)

●お湯の出しかた(点火操作)

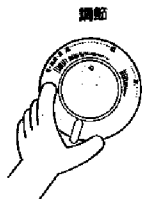
1 プッシュボタンを押す

●プッシュボタンは**真までしっかり**押してください。
 ※出湯した直後には少し熱いお湯が出ることがありますので、はじめのお湯には手を触れないでください。



2 温度を調節する

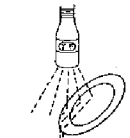
●**湯温調節ハンドル**で、「低」〜「高」の間でお好みに調節してください。
 クリック「カチ／カチ」音が付いて、微調節がしやすくなっています。



●キッチンシャワーの使いかた



切替スイッチを押すと



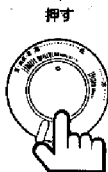
シャワーに変わります

※お湯の出る時なら、お湯の熱いお湯が流れてきます。

●お湯の止めかた(消火操作)

3 プッシュボタンを押す

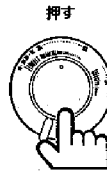
※お出かけやおやすみ前には、ガス元栓を閉じてください。



●熱湯の出しかた(点火操作)

1 プッシュボタンを押す

●プッシュボタンは**真までしっかり**押してください。



2 キッチンシャワーをストレートに切替える

●**キッチンシャワー切替ボタン**によりストレートに切替えてください。



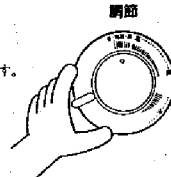
切替スイッチを押すと



ストレートに変わります

3 熱湯にセットする

●**湯温調節ハンドル**を右に回してセットします。

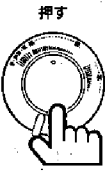


蒸気が濃く出るような場合、キケンです。器具自身のためにも蒸気の出ない位置まで、湯温調節ハンドルを左に回してお使いください。

●熱湯の止めかた(消火操作)

4 プッシュボタンを押す

※お出かけやおやすみ前には、ガス元栓を閉じてください。



使用後はなるべく湯温調節ハンドルを「低」〜「高」の間へ戻しておいてください。

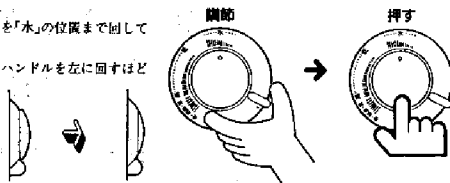
●水の出しかた

①「水」の位置にセットし、プッシュボタンを押す。

●**湯温調節ハンドル**を「水」の位置まで回してください。

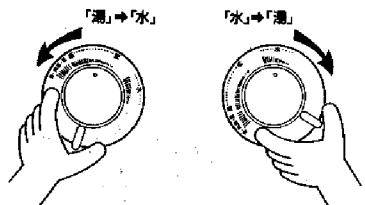
●「水」の位置では、ハンドルを左に回すほど

水の量は少なくなります。



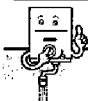
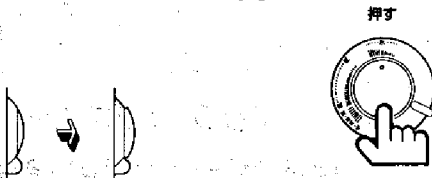
●お湯から水への切替

「水」に湯温調節ハンドルを合わせると自動的に消火して、水に切替わります。再度、「低」→「高」の順へ戻すと自動的に着火して、お湯に切替わります。



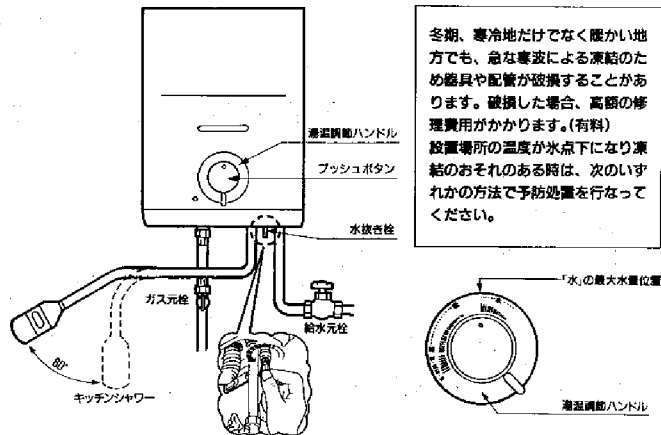
●水の止めかた

② プッシュボタンを押す



特に、夏場などお湯をお使いにならない時でも、この様にして水道代わりに便利にお使いただけます。

冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため器具や配管が破損することがあります。破損した場合、高額な修理費用がかかります。(有料)
設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある際は、次のいずれかの方法で予防処置を行なってください。



●器具内の水を抜く方法

- ①ガス元栓・給水栓を閉じる。
 - ②湯温調節ハンドルを「水」の最大水量位置に合わせる。
 - ③キッチンシャワーの切替スイッチをストレート出湯側に合わせる。
 - ④キッチンシャワーを即座に横切る。
 - ⑤水抜き栓をはずす。
 - ⑥プッシュボタンを押す。
- 再びご使用になる時は、水抜き栓をしかり閉じて、(5ページ)の「操作前の準備と確認」の処理を行なってください。

●水を流しっ放しにする方法

- ①ガス元栓を閉じる。
 - ②湯温調節ハンドルを「水」に合わせる。
 - ③キッチンシャワーの切替スイッチをストレート出湯側に合わせる。
 - ④プッシュボタンを押す。
 - ⑤給水元栓を少しずつ閉じてください。
 - ⑥水量が1分間に牛乳ビン1本(200cc)程度(特に寒い日は、それ以上)流れる様にしてください。
- (水量が不安定なことがありますので、30分後ぐらいにもう一度確認してください。)

注意

- 凍結したときには、とけるのを待ってから(8ページ)の「水の出しかた・止めかた」により ①水の出ること ②水漏れのないこと ③作動に異常のないことを確かめてからご使用してください。

点検・お手入れ

● 日常の点検・お手入れ

① ゴム管が折れたり、ひび割れたりしていませんか？

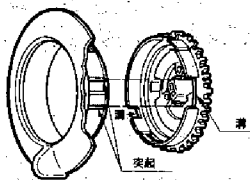
- ゴム管や接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで点検してください。
- ひび割れたり、差し込み部がゆるんだゴム管は、必ず取り替えてください。

② 熱交換器のつまりはありませんか？

- 熱交換器(排気口部分)に白い粉やスなどのつまりがあるときは、不快なおい気したり、炭に不ぞろいの異常が生じたりします。このようなときには使用を中止し、お買い求めの販売店、またはよりの大阪ガス支社に点検・修理を依頼してください。(有料)

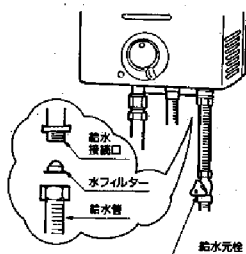
③ 前板・後板・排気フードのそうじ

- 湯沸器の前板・後板・排気フードの汚れはやわらかい布に台所用中性洗剤を付けてふき取ってください。金属たわし、スポンジたわし、みがき粉、シンナーなどは使用しないでください。
- 湯温調節ハンドルを取りはずして前板のそうじをした際は、湯温調節ハンドルの取付け方向にご注意ください。



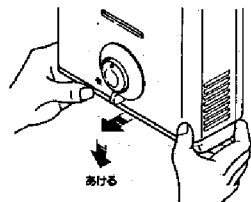
④ フィルターのそうじ

- 湯沸器の水の出が悪くなったときは、水フィルターにゴミや砂がたまっていることがあります。次の手順でつまりを確認し、そうじしてください。
- ① 給水元栓を閉じてください。
- ② 配管カバーを外したあと工具で給水管を外し、水フィルターを引き出し、確認しそうじしてください。
- ③ 給水元栓を開いて水を流し、配管内からゴミが出ないことを確認してください。給水元栓を閉じて、元どり取り付けてください。

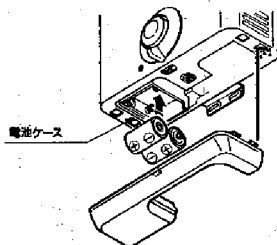


● 乾電池の交換

- ① 配管カバーを両手で持ち、手前にスライドし取りはずしてください。



- ② 乾電池は付属品と同じ単1形(1.5V)を2本同時に新しいものと交換してください。
- ③ 乾電池を入れるときは⊕⊖の方向に注意してください。



- ④ 電池交換後、配管カバーのツメ(4ヶ所)を器体の角穴に差し込み、両手で奥の方にスライドし、確実にセットしてください。

ご注意

- 湯沸器を安全に長くご使用いただくために日常の点検、お手入れを必ず行なってください。
- 日常の点検・お手入れの際にはガス元栓、給水元栓を閉じて、湯沸器が十分冷えてから行ってください。

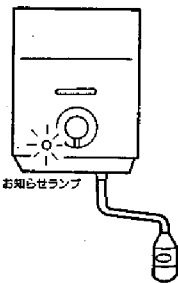
ご留意

- 湯沸器の内部は分解しないでください。
- 乾電池の寿命はおおよそ1年がめやすです。
- 乾電池が消耗してくると、プッシュボタンを押しても点火せず、点火スパークが約5秒間続いたあと、ランプが点灯します。または、プッシュボタンを押した直後にランプが点灯する場合があります。このときには新しい乾電池と交換してください。

故障かな?と思ったら

●お知らせランプ について

- 次のようなときに器具の左下にあるお知らせランプが「点灯」します。(出湯操作時)
 - 電池の交換が必要なとき。
 - ガス元栓が閉まっているとき。
 - 安全装置がはたらいたとき。
- 点火・消火を連続に行なった時には、お知らせランプが「点光」場合がありますが、これは異常ではありません。



●安全装置の種類

①立消え安全装置

- バーナーが消えるとこの安全装置が動いて自動的にガスを止めます。

②不完全燃焼防止装置

- 部屋の換気不足や熱交換器のつまりなどが起こると不完全燃焼となります。このとき、この装置が動いて自動的にガスを止めて、不完全燃焼による事故を防ぎます。

③過熱防止装置(温度ヒューズ)

- 使用中器具本体内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が動いて自動的にガスを止める装置です。

●安全装置が作動した ときの処置方法

- 使用時にバーナーの消火に気付かれたときは次の処置をしてください。
- ①すぐに消火・出湯停止の操作をしてください。
- ②戸や窓を開いて換気をしてください。
- ③しばらく(約1分)待ってから、点火・出湯操作をしてください。
- ④不着火または途中消火がたびたび起こる場合は、お買い求めの販売店、またはもりの大阪ガス支社にご相談ください。

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

こんなとき (現象)	原因						処置方法	参照ページ
	ガス元栓が閉まっている	給水元栓が閉まっている	配管(ゴム管)内に空気が入っている・残っている	湯沸器の水フィルターがつまっている	水圧が適切でない	換気不足		
お調べいただくこと (原因)								
ガス元栓の開き不十分	○	○					プッシュボタンを押して消火・出湯停止してからガス元栓を全開にする。	5
給水元栓の開き不十分		○					給水元栓を全開にする。	5
配管(ゴム管)内に空気が入っている・残っている			○				点火するまで、点火操作を繰り返す。	6
湯沸器の水フィルターがつまっている				○	○		水フィルターをそうじする。	11
水圧が適切でない					○	○	点検を依頼する。	21
換気不足						○	ご使用を中止し窓をあげる。	3
乾電池が消耗している						○	乾電池を交換する。	11
バーナーのつまり						○	点検・そうじを依頼する。	-
熱交換器のつまり						○	点検・そうじを依頼する。	10
安全装置が作動						○	点検・修理を依頼する。	12
点火装置の故障						○	点検・修理を依頼する。	-

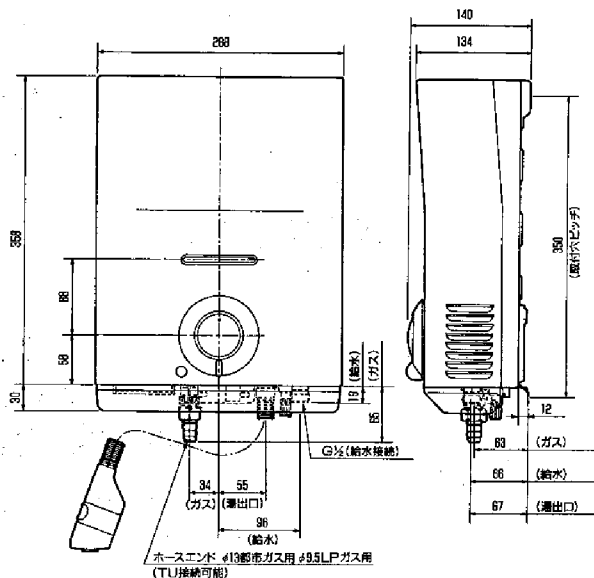
- このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはもりの大阪ガス支社へご連絡ください。
- 修理は絶対にお客さまご自身でなさないでください。不完全な処置は事故のもとになります。

故障かな?と思ったら「お問い合わせ」(お買い求めの販売店)へご連絡ください。

寸法図

仕様

(単位: mm)



品名	ガス小型湯沸器		
大阪ガス商品コード	33-055型・33-056型・33-057型		
メーカー型式名	YR626		
種類	給湯方式	元止め式	
	給排気方式	開放式	
点火方式	連続スパーク点火		
最低作動水圧	0.35kg/cm ²		
使用水圧	0.5kg/cm ² ~10kg/cm ²		
排気温度	260℃以下		
外形寸法	高さ398mm×幅268mm×奥行140mm		
重量(本体)	5.4kg		
	給水	15A(G1/2)	
接続	ガス	都市ガス #13mmゴム管接続口 LPガス #8.5mmゴム管接続口 (R1/2 TUねじ接続可能)	
	安全装置	立消え安全装置・不完全燃焼防止装置・過熱防止装置	
付属部品	湯出口管セット・木ねじ(3本)・乾電池(単1×2個)		
使用ガスの種類 ガスグループ	1時間当りの ガス消費量		出湯能力L/分 上昇温度
	kgal/h	m ³ /h	25℃
都市ガス	13 A	9.800	0.9 (5.1)
LPガス		0.80kg/h	(5.0) 3.1

- 備考
- 出湯能力は給水圧力1kgf/cm²のとき。
 - ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
 - 出湯能力の()内は、計算値です。実際に25℃上昇されると湯温調節ハンドルによりガス量が絞られるため、出湯量は若干少なくなります。

保管とアフターサービス

●保管(長期間使用しない場合)

- ガス元栓を閉じ、水抜きを行なってください。(9ページ参照)
- 乾電池を電池ケースより抜いてください。(11ページ参照)
- (乾電池の液もれにより、器具をいためることがあります。)

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●サービス(点検・修理)を依頼される前に

「故障かな?と思ったら」(12ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。

それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●ご連絡の際は次のことをお知らせください。

1. 製品名.....ガス小型湯沸器
2. 大阪ガス商品コード...湯沸器の右側面に貼付してあります。

例

(N)33-055(U)

大阪ガス株式会社 〇〇

3. 現象.....できるだけ詳しく。
4. 道順.....できるだけ詳しく。

転居されるとき

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

●保証期間中は.....

保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。

保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後6年間です。

設置・工事

工事される 方へお願い

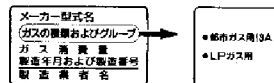
この器具を安全に使っていただくために、以下の説明をしっかりと読みいただき指定された工事を確実に行なってください。工事終了後は、試点火、試運転のうえ、操作方法をお客様に説明していただき最後に忘れずに、この説明書をお客様にお渡しください。

●設置・工事される前に

使用ガスの確認

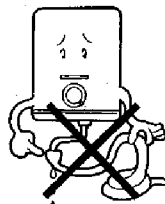
- ①器具(銘板)に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では、使用しないでください。
- ②銘板は器具右側面に貼っています。
- ③ガスの種類には都市ガス13種類とLPガスとがあり、さらに都市ガスにはガスグループの区分があります。お宅のガスと一致していることをご確認ください。

(銘板)



用途の確認

この器具は元止め式ですので、給湯配管(先止め配管)や給湯ホースの接続は絶対しないでください。

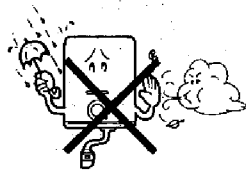


設置場所について

- 次のような所へは設置しないでください。

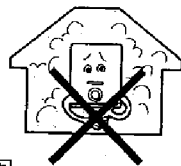
■屋外

雨・風のため火が消えたり、冬期には凍結して器具が破損することがあります。



■換気が不十分な所

器具が完全燃焼するためには多量の新鮮な空気が必要です。換気扇及び給気口を設けて十分な換気をしてください。



■浴室内

湿気が多く、換気が不十分なため不完全燃焼を起こし易く非常にキケンです。

ガスコンロ・ガスレンジの上

排気ガスや調理物の蒸気・油などにより、不完全燃焼や故障の原因になります。



理・美容院・クリーニング店・工機等

特殊薬品(アンモニア・除菌・塩素・エチレン化合物・酸類等)を使用する室内では、酸化した薬品により器具内の部品を損傷したり、不完全燃焼を起こしたりすることがあります。



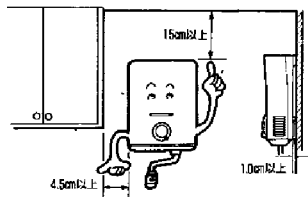
引火性危険物の近く

ガソリン、ベンジンなど引火性の危険物を取り扱う場所には設置しないでください。

直射、風のおたる所

冷暖房機器の吹出し口付近など、器具に直接、風があたるような所は不完全燃焼を起こし易いため避けてください。

●防火上、保守点検上、周囲は次のスペースを確保してください。

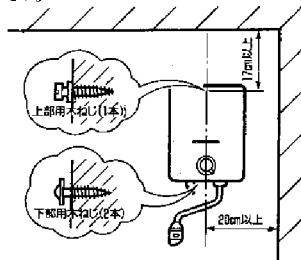


- ①天井から15cm以上離してください。
- ②器具の両側面は戸棚・壁などから4.5cm以上離してください。
- ③背面は1.0cm以上離してください。
 - 背面は、器具をそのままならぬ面に取付けますと1.0cm離れるようになっています。
- ④前面は十分なメンテナンススペースを確保してください。

器具の、のぞき窓の位置が目の高さになるくらいの高さに取付けると、点火・消火が確認しやすく便利です。

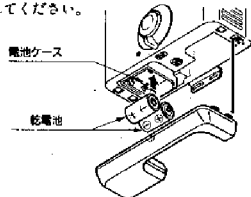
●器具の設置

- ①天井より17cm以上、戸棚や壁などより20cm以上離れた位置に、上部用の木ねじ(1本)をいっばいにねじ込んでください。
(上部用(1本)、下部用(2本)の木ねじがありますのでご注意ください。)
- 取付壁面に十分な強度がない場合は補強工事をしてください。
- ②ねじ込んだ上部用木ねじに器具の取付足下部穴を引っ掛けてください。
 - ③器具をまっすぐにしてから取付足下部穴(2か所)を下部用木ねじ(2本)でしっかりと固定してください。



乾電池の入れ方

付属の乾電池(単1：2本)を⊕⊖の方向に注意して入れてください。

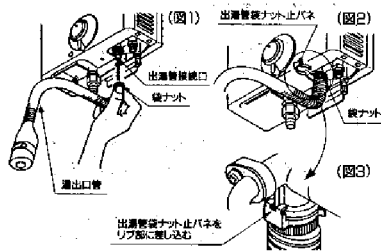


乾電池の交換のしかたについて、詳しくは11ページをご覧ください。

●付属部品の取付け

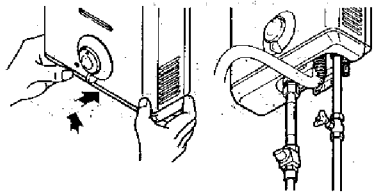
湯出口管の取付け

- ①器体下部の配管カバーを両手で手前にスライドして取外してください。
- ②湯出口管の出湯管袋ナット止バネを取外してください。
- ③湯出口管を器具底部の出湯管接続口にしかりと差し込んでください。(図1)
- ④出湯管接続口の凸起部が、袋ナットに喰い込むまで、袋ナットを締め込んでください。
- ⑤出湯管袋ナット止バネを袋ナットに確実に取付け、袋ナットが固定されているか確認してください。(図2、図3)



配管カバーの取付け

ガス・給水の配管工事(21ページ)が終わったあと、配管カバーを取付けてください。

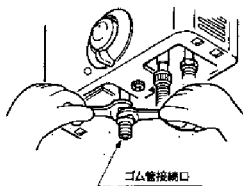
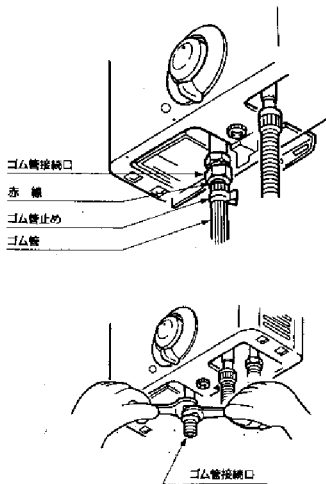


ガス配管工事・給水配管工事の際は配管力パー
をはずして行ってください。

(11ページ参照)

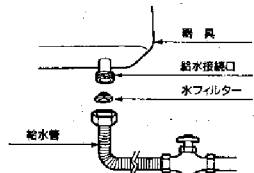
●ガス配管工事

- ①ガス配管工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ②器具を設置する場所に専用ガス元栓がない場合、または位置や口径などが適切でない場合は、新設または交換してください。
- ③ゴム管を挿入する場合は、ゴム管接続口の赤い線までしっかりと差し込み、ゴム管止めで止めてください。
- ④ゴム管を他の部材から延長したり、継ぎ足しや分岐(ふたまた)させたりしないでください。
- ⑤金属管、金属可とう管または継手付強化ガスホースによる配管ができます。
(このときは、ゴム管接続口を取外して配管してください。)
- ⑥ゴム管接続口の取外しや金属管などの取付をするときには、器具のガス入口の六角部にスパナを差し込んで取付・取外しをしてください。



●給水配管工事

- ①給水配管工事は給水事業者の指定工事店に依頼してください。
- ②給水圧力は、最低0.35kg/cm²(湯温調節「低」の位置)以上ですが、快適にご利用いただくためには、0.5kg/cm²~1.0kg/cm²が好ましい条件です。
- ③水圧側には給水元栓または分岐水栓を必ず取り付けてください。
- ④器具の給水接続口へ給水管を接続してください。
(給水管材料は各市町村水道局(課)承認のものをお使いください。)



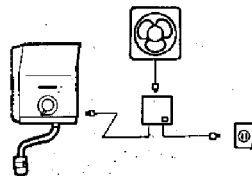
●換気扇連動スイッチ (別売部品)について

- 室内の換気をより確実にするために、便利な換気扇連動スイッチのご利用をおすすめします。
- 換気扇連動スイッチをご利用になりますと、湯沸器の点火・消火に連動して、換気扇が自動的に作動・停止します。
- 換気扇連動スイッチは別売していますので、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

換気扇連動スイッチに接続の際は、
別売部品が必要です。

- 95-205の場合
換気連動マイクロスイッチが必要です。
- 95-210B、95-210の場合
換気連動アタッチメントが必要です。
- 95-210Aの場合
換気連動アタッチメントと接続アタッチメントAが必要です。

詳しくは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。



ご注意

- ゴム管が長すぎたり短かすぎると、折れたりぬじれることがありますので、ご注意ください。
- ゴム管はガスこんろなどの熱を受けたり、高温部に触れないようにしてください。(ゴム管の寿命が短くなります。)

ご注意

- 給水管を接続する前に、給水元栓を開いて配管内のゴミ・砂・シール材などが出なくなるまで水を流してください。
- 給水管を接続する前に、給水接続口に水フィルターがはめ込まれていることを必ずご確認ください。